MITSUBISHI ELECTRIC

1511876HC9201

三菱エアパス用ファン **〈壁据付専用〉**
居間・事務所・店舗用

形名 V-08PF7・12PF7

取扱説明書

お客様用

お客様自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。
  なお、ご使用の前に「1. 安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
  No servicing is available outside of Japan.

1. 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。
水ぬれ禁止	●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。
分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。
指示に従う	●交流 100 V を使用する 火災・感電の原因。
	●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。
	●お手入れの際は分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。

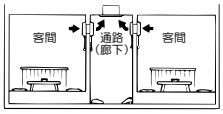
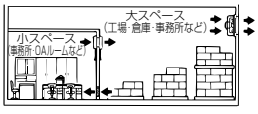
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	●高温（40℃以上）になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所には据付けない。また、使用しない 火災の原因。
浴室での使用禁止	●浴室など湿気の多い場所には据付けない。また、使用しない 感電・故障の原因。
接触禁止	●運転中は羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
指示に従う	●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。
	●お手入れの後の部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。
	●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。

指示に従う	●電気工事は必ず電気工事店に依頼する。また、据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
	●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。
	●長期間ご使用にならないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

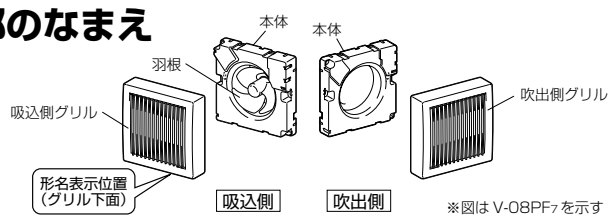
2. ご使用にあたってのお願い

- **換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。**
- **お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください（中性洗剤をご使用ください）。**
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
  （異常音の発生、変質、変色、破損や故障の原因）

■部屋から部屋への排気・送風ができます。

1 空調ゾーンから非空調ゾーンへの送風	2 通路側（廊下）への排気	3 建物内の独立スペースの換気
		
空調ゾーンから非空調ゾーンへ、暖かさ・涼しさを送風することができます。	飲食店などで、屋外への排気が不可能な仕切られたスペースがある場合、通路（廊下）側へ排気し、通路側にあるメインの送風機で屋外に排気することができます。	広いスペース内（工場・倉庫・事務所など）に、独立した小スペース（事務所・OAルームなど）があり、屋外へ排気できない場合、広いスペース側に排気しメインの送風機により屋外へ排気することができます。

3. 各部のなまえ



※図は V-08PF7 を示す

4. 使用方法

- **運転開始と停止は壁のスイッチで行います。**

5. お手入れ

グリル、羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。
約４か月に１度を目安に清掃してください。

- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検（本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください）をお願いします。

⚠警告
お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの原因。

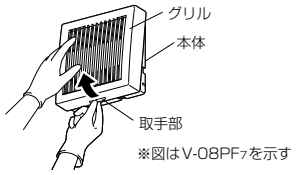
⚠注意
お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因。

お願い ●**お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。**（異常音発生の原因）

1. 清掃部品のはずしかた

グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。

- 本体からグリルをはずす際、グリル正面を支えながらはずしてください。（落下によるけがの原因）



※図は V-08PF7 を示す

2. 清掃のしかた

1. **グリルは中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かす。**
2. **羽根、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。**

3. お手入れ後の清掃部品の据付け

1. **据付けは取りはずしと逆の順序で行う。**
2. **据付け後、次の確認をする。**
   （1）グリルが確実に据付けられていますか。
   （2）異常な音が出ていませんか。
   （必ず運転をして確認してください）

お願い ●**吸込側グリル（形名表示あり）は必ず羽根がある方の本体に据付けてください**

6. 修理を依頼される前に

- **次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。**
- **当社ホームページ「よくあるご質問 FAQ」もご活用ください。**
  http://faq01.mitsubishielectric.co.jp/category/show/270

こんなとき	原因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか	「入」にします
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていますか	据付け直します
	羽根・グリルにほこり・異物が付着していませんか	清掃します
こげ臭いにおいがする	故障です 運転を停止してください	販売店または工事店へ連絡します

- モーターの軸受は時間が経つにつれ、回転がなじんで音が変化することがありますが異常ではありません。

7. アフターサービス

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このエアパス用ファンの補修用性能部品を、製造打切り後６年保有しています。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

●修理料金は
技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。
- 技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品　　名　三菱エアパス用ファン
2. 形　　名　○-○○○○
3. お買上げ日　　○年　○月　○日
4. 故障の状況　（できるだけ具体的に）
5. ご　住　所　（付近の目印なども）
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」（別紙）にご相談ください。

8. 仕　様

（電圧 100V）

形　名	消費電力（W）		風　量（m³/h）		騒　音（dB）		質量（kg）
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-08PF7	1.8	2.1	70	75	22.5	26	0.6
V-12PF7	3.3	4.1	140	150	29	31	0.95

※特性は JIS C 9603 に基づく開放時の値です。

- 「長期使用製品安全表示に基づく本体表示について」は、この取扱説明書裏面に記載されております。

愛情点検　☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です） ●こげ臭いにおいがする。 ●本体据付部に腐食、破損などがある。	▶	使用中止	故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。 点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ サービスを依頼されるとき便利です。	形　名		お買上げ年月日	年　月　日
	お買上げ店名（住　所）（電話番号）	（　　）		

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料に ISO 規定の略号を使用。）

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号

この説明書は、再生紙を使用しています。

据付説明書　　販売店・工事店様用

据付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

■据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。
（間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります）
■電気工事は電気工事士の方が実施してください。
■この製品は居間・事務所・店舗に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。
（故障の原因になります）
■製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

形　名	グリル形状	電源仕様	適用パイプ	据付可能壁厚
V-08PF7	角形格子グリル	速結端子	●塩化ビニル管 …VP、VU（呼び径100㎜） ●鋼板管（内径100㎜）	52㎜以上
V-12PF7			●塩化ビニル管 …VP、VU（呼び径150㎜） ●鋼板管（内径150㎜）	66㎜以上

1. 安全のために必ず守ること

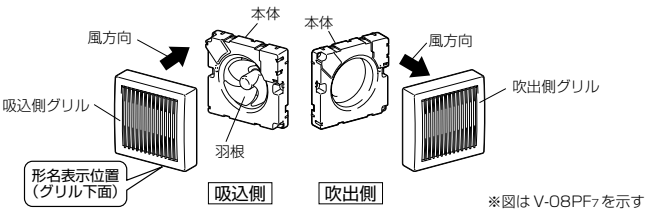
据付けを始める前に「1. 安全のために必ず守ること」（裏面）をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

2. 据付前のお願い

- 高温（40℃以上）になるところに据付けないでください。（故障の原因になります）
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けないでください。（故障の原因になります）
- 天井裏・屋外へ直接排気するところ、およびトイレには据付けないでください。
- 本製品は壁据付専用です。天井には据付けないでください。
- 壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。（振動の原因になります）
- 吹出し側に火災警報器がある場合は、感知部から 1.5m 以上離れたところに据付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

3. 各部のなまえと外形寸法図

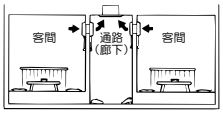
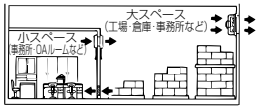
●各部のなまえ



※図は V-08PF7 を示す

●外形寸法図　⇒梱包箱をご確認ください

■部屋から部屋への排気・送風ができます。

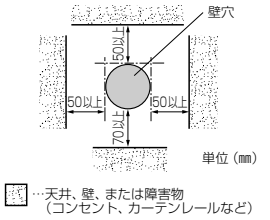
1 空調ゾーンから非空調ゾーンへの送風	2 通路側（廊下）への排気	3 建物内の独立スペースの換気
		
空調ゾーンから非空調ゾーンへ、暖かさ・涼しさを送風することができます。	飲食店などで、屋外への排気が不可能な仕切られたスペースがある場合、通路（廊下）側へ排気し、通路側にあるメインの送風機で屋外に排気することができます。	広いスペース内（工場・倉庫・事務所など）に、独立した小スペース（事務所・OAルームなど）があり、屋外へ排気できない場合、広いスペース側に排気しメインの送風機により屋外へ排気することができます。

4. 据付方法

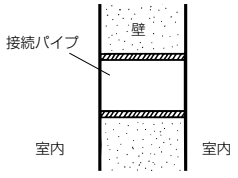
1 据付前の準備（壁穴への接続パイプの固定）

1. 据付場所を決めて壁穴をあける。
   - 右図の壁穴位置をご確認ください。
   - 接続パイプには塩化ビニル管の薄肉（VU）と厚肉（VP）管および鋼板管があります。壁厚に応じて長さを決めてください。
   - 必ず床面より 1800 ㎜以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。

お願い
- 据付位置は右図の位置になるようにしてください。右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合があります。



2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。
   接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
   - 電源電線を室内に引き込んでから（電気工事参照）行ってください。
   - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
   - 接続パイプは壁面より室内側に出ないようにしてください。



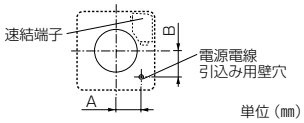
2 電気工事

電源電線の接続・電気工事などは、電気工事店へご依頼ください。
■市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。

⚠警告
- **交流 100V を使用する**
  直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。

⚠注意
- **電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）及び「内線規程」に従って安全・確実に行う**
  接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。

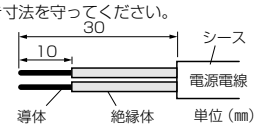
1. 電源電線を下図の位置から室内に引き込む。
   - 電源電線は VVF φ 1.6 または φ 2.0 2 芯をご使用ください。



単位（㎜）

形　名	A	B
V-08PF7	50±5	60±5
V-12PF7	55±10	85±10

2. 電源電線の先端を下図に合わせて皮むきする。
   - 端子部への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため皮むき寸法を守ってください。

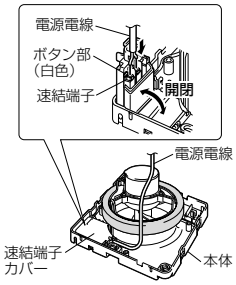


3 本体の据付け

お願い
- インパクトドライバーは使用しないでください。
  本体の固定部分が破損するおそれがあります。
- 吸込側グリル（形名表示あり）は必ず羽根がある方の本体に据付けてください。

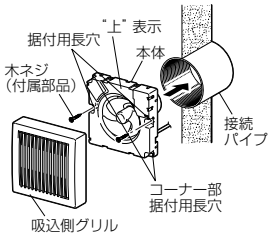
吸　込　側

1. 本体からグリルをはずす。
2. 結線をする。
   （電気工事は電気工事士の方が実施してください）
   ①速結端子カバーを右図のように開ける。
   ②電源電線を速結端子に差し込む。
   ③速結端子カバーを元通り閉じ確実に固定する。



お願い
- 電源電線は確実に速結端子に差し込みます。速結端子より導体が出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引いて速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部（白色）を押しながら電源電線を引き抜いてください。

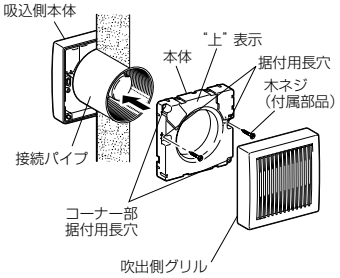
3. 本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属の木ネジ 2 本で本体を固定する。
   - 本体の刻印「上」を上側にして据付けてください。
   - 左右の据付用長穴をご使用ください。必要に応じてコーナー部据付用長穴（V-12PF7 は上下部ネジ穴）をご使用ください。
   - 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



4. グリルを本体に据付ける。
   - グリルの方向を確認して、本体に据付ける。
5. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

吹　出　側

1. 本体からグリルをはずす。
2. 本体の上下を確認して接続パイプに合わせ付属の木ネジ 2 本で本体を固定する。
   - 本体の刻印「上」を上側にして据付けてください。
   - 左右の据付用長穴をご使用ください。必要に応じてコーナー部据付用長穴（V-12PF7 は上下部ネジ穴）をご使用ください。
   - 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



3. グリルを本体に据付ける。
   - グリルの方向を確認して、本体に据付けます。
4. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

5. 試運転

- 製品が運転・停止するかを確認してください。
- 異常な音・振動などがないかを確認してください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

⚠ 【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921 -2 に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
- 本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
- 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　JIS C 9921 -2

環境条件	電　圧	単相 100V	定格電圧による
	周波数	50Hz および 60Hz	定格周波数による
	温　度	20℃	JIS C 9603 から引用
	湿　度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書「8. 仕様」による
想定時間	1 年間の使用時間	換気時間[a)] 台所　2410 時間／年 居室　2193 時間／年 トイレ　2614 時間／年 浴室　1671 時間／年	

注[a)] 24 時間換気のものは、8760 時間／年とする。